

第2学年 友だちやALTに休暇中の自分の旅行計画を紹介しよう。

P

〔単元の目標〕

- ・休暇中の計画を紹介し合うために、自分が立てた予定について、簡単な語句や文を用いて伝えることができる。

D

〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	予定を説明するために、未来形 (be going to + 動詞の原形、will) を使うことを意識させる。	
②	発表を評価する際のポイントとなる基準を明確にし、生徒たちと共有する。	A

C

〔単元の目標の達成状況〕

- ・全ての生徒が、未来形を活用し、自分の行きたい場所や計画について他者に伝えることができた。
- ・多くの生徒が、既習の語句や文法を活用することにより、予定をより詳しく説明することができた。

A

〔改善の方向性〕

- ・グループごとにALTを交えて発表を行ったが、時間がかかったため、グループごとに発表の様子を撮影するなど、ICT端末を活用して、効率的にパフォーマンステストを実施する必要がある。

資料A

知識・技能	思考・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知識】</p> <p>be going toや助動詞willを用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】</p> <p>be going toや助動詞willを用いた文の理解をもとに、自分の週末（休暇）の予定や、予測や意思などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身に付けている。</p>	<p>休暇中の旅行計画などを紹介するために、自分が立てた予定について、簡単な語句や文を用いて情報を整理しながら話している。</p>	<p>休暇中の旅行計画などを紹介するために、自分が立てた予定について、簡単な語句や文を用いて情報を整理しながら話そうとしている。</p>

資料A

観点	A 十分満足できる状況	B おおむね満足できる状況	C 努力を要する状況
知識・技能	誤りのない正しい英文で話すことができる。	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で話すことができる。	【B】を満たしていない。
思考・判断・表現	【B】に加えて、行きたいと考えている理由やそこで何をしたいかなど、様々な視点から話している。	未来形を用いて、休暇中の予定を話している。	【B】を満たしていない。
主体的に学習に取り組む態度	【B】に加えて、行きたいと考えている理由やそこで何をしたいかなど、様々な視点から話そうとしている。	未来形を用いて、休暇中の予定を話そうとしている。	【B】を満たしていない。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

① 予定を説明するために、未来形（be going to + 動詞の原形、will）を使うことを意識させる。

〔生徒の活動〕

○未来形を用いた言語活動を行う。

- ・相手の予定の書かれた文章を理解したり、自分の予定を伝える。
- ・相手がある場で判断したことの概要を捉えたり、自分の考えを即興で伝える。

○未来形を用いた英作文を行う。

- ・今週末の予定や、休暇中にする予定（したいこと）を書く。

〔教師の指導〕

○場面や状況を明確にして言語活動に取り組みさせることで、未来形を用いたやり取りについて理解を深めさせる。

○文法の説明や言語活動を通して未来形の活用について理解を深めさせてから、英作文につなげる。

〔工夫点〕

○生徒の実生活に近い状況を設定する。
○be going toとwillの違いを意識させる。

○短い英作文から始めるなど、段階的に指導する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

②発表を評価する際のポイントとなる基準を明確にし、生徒たちと共有する。

〔生徒の活動〕

○発表の際の評価の基準を意識し、原稿の作成や発表練習等の言語活動に取り組む。

〔教師の指導〕

- 発表の際に使用する評価シートを渡し、評価のポイント（言語活動を行う際に気を付ける点）を意識させる。
- 発表のモデルとして教師自身の旅行計画を紹介し、生徒とゴールの姿を共有する。

〔工夫点〕

- 評価のポイントは、ALTと相談して決める。
- 目指す姿や評価規準をあらかじめ生徒と共有する。